

## 第49回笹賀地区文化祭開催

10月26日(日)に「第49回笹賀地区文化祭」が開催されました。

今年度はステージ発表会(16団体出演)、地元企業協賛のお楽しみ抽選会(全3回)とスタンブラリー企画(22社協賛)、除籍本の配布、日赤笹賀分団による防災食配布、芳川消防署神林出張所による防災講座、松本看護大学生による簡易トイレ配布、松本短期大学生による読み聞かせ、デジタル笹賀によるCanva体験、おやこクラブでつるもるによるスーパースクールすくすく・輪投げが行われました。



おやこクラブでつるもるによる輪投げ・スーパースクールすくすく



松本看護大学生による簡易トイレの説明・配布、つむぎちゃん着ぐるみ



ステージ発表会



松本短期大学生による読み聞かせ



芳川消防署神林出張所による防災講座



デジタル笹賀によるCanva体験



日赤笹賀分団による防災食配布



お楽しみ抽選会



福祉ひろばまつり



デジタル笹賀によるCanva体験

| 笹賀の世帯数・人口        |          |
|------------------|----------|
| 世帯数              | 4,829 世帯 |
| 人口               | 10,720 人 |
| 男                | 5,425 人  |
| 女                | 5,295 人  |
| (令和 7. 11. 1 現在) |          |

## ママさんバレーボール 6年ぶり市長杯出場!

11月2日、第42回松本市長杯争奪球技大会が開催されました。ママさんバレーボールは、エアウオーターアリーナメインアリーナで7地区が集まり熱戦が繰り広げられました。6年ぶりに出場した笹賀は初戦敗退の残念な結果でした。少し肌寒い中での試合、汗が流れるほどの選手もいて力を発揮した

ようでした。

「6年ぶりに沢山の方の御協力でお出することができました。バレーボールは密な競技です。新型コロナの影響で集まること・声を出す事・喜んだり・悲しんだり全て奪われメンバーの気持ちも薄れていた6年間で、公民館の方々の熱い思いをずっと支えてくれたメンバーと新加入メンバーの計10名で出場できたこと、大変嬉しく思います。全ての方に『感謝』です。来年以降も笹賀地区のこの歴史あるママさんバレーを絶やさぬよう後世に繋いでいきたいと思いますので、笹賀地区全ての方へお願いです!! 選手、監督、コーチ、マネージャー経験は問いません。是非ご参加よろしくお願ひします!」と、監督の伊藤悟さん(上小俣)は、熱く話していました。



## 菅野小学校ブラス バンド部金賞受賞



九月六日岐阜県羽島市において、東海小学生バンドフェスティバルが行われました。4年連続出場の菅野小学校ブラスバンド部は昨年に引き続き、金賞を受賞いたしました。

顧問の渡邊先生は「楽しく音楽することを大事にしながら、日々の練習を鍛錬ではなく楽しんで積んできたこと、温かな雰囲気の中で皆と過ごすことができたこと、先生に頼りきることなく自分たちで進めてきたこと、そして作り上げた私たちの音楽が金賞と評価していただけたことは、何にも代えられない価値がある」と話していました。

## 白馬五竜自然観察ウォーキング テレキャビンで1500m!!

10月10日好天に恵まれ、公民館・福祉ひろばの共同企画で自然観察ウォーキングを開催しました。定員30名のところ応募多数でバスを追加するという大盛況、総勢72名が3台のバスで8時30分に公民館を出発しました。2時間の道中を経て白馬五竜高山植物園入口、テレキャビンのおみ駅に到着です。

テレキャビンは雪のないゲレンデの上を登ります。木々の茂る斜面に差し掛かると、急激に登る角度が変わります。「私高いところだめなんです」と麓に背を向けて座っていた人も、緑と空気の爽やかさに恐怖心も消えていたようです。アルプス平駅で降



り、そこでガイドさんのお話を聞きました。

ここから見える山並みは白馬三山も顔を見せ、麓には白馬村が遠くまで見渡せます。

植物園は秋の季節なのでもう咲いていない花が多いですが、その痕跡からシーズンには面に咲いているであろうことが想像できます。そんな中にも今咲いている花たちがささやかに咲いています。ふと空を見るとパラグライダーが飛んでいます。よく見ればかなりの数が広範囲に。気持ち良いだろうな、と思いながら園内を登り展望の良い場所に行くと、麓の視界が開けてまた清々しい景色の広がりを楽しめ

ます。

頂上のケルン(風切地蔵尊)を目指します。植物園と並行して走る展望リフト(休止中)の降り場まで来るとすっかりと休憩している人たちがいます。「今から行っても帰りに間に合わなくなるから」たしかに時間が足りなくなりますが、ここで休みして戻りました。

テレキャビンで下りの絶景を見て、麓のエスカルプラザで昼食の蕎麦御膳をいただき帰路につきました。

参加した宮下直子さん(下二子)は「高山植物園から見た五竜岳の尾根づたいに続く稜線や周りの景色の美しさは、日常のストレス解消になり、昼食のそば御膳のおいしさも最高で、今度は高山植物の花が咲く季節に家族と来たい」と言います。夫婦で参加した矢島文夫、みよ子夫妻は「生き生き健康教室のインターバル速歩の会で10年ほど活動しているが、ウォーキングに出かけたり、名所が近くにあって自分で行く機会はないかなかなか作れず、行事に参加できて楽しかった」「代掻き馬の雪形に見る、しろうま、と、杓子岳、白馬鍾の白馬三山もしつかり見えて大満足」と笑顔を見せていました。

10月19日(日)14時からジャズ雅鳴きたやにて、水谷浩章さんと松井宏樹さんによるジャズライブコンサートが行われました。

水谷さんはコントラバス奏者として多数のアーティストの活動に参加しており、現在は坂田明さん、栗田妙子さんと共に活動しています。

松井さんはサックス奏者として東京を中心に活動しています。今回はアルトサックス・ソプラノサックスを演奏してくれました。

まずは馴染みの曲から。しかし生演奏です。アレンジされている中に聞き覚えのあるフレーズがあれば、曲名を当てるのはジャズ通でないとは難しいでしょう。昔先輩に「ジャズのアレンジは全然別の曲になるから」と言われたのを思い出します。でもよく聞いていると、きちんと原曲に忠実である雰囲気が出ています。

演奏が進みますと、アドリブソロがどんどん出てきます。



そしてその掛け合い。そろそろ終わるかな?と思うと、いやいやまだまだ、とソロが続きます。さあ、ここで終わるよ、ときつかけを与えて演奏が渡される。こういうのって、相手を思いやらなければ出来ない演奏ですね。

タップダンスのように指がはずむベース、駆け抜けていく風のようなサキソフォン。見事なテクニクに圧倒されます。スタンダードな曲以外は、私はやや苦手意識を持っていた生のジャズ。実は自分はこのうのが好きだった、と気付かされた素晴らしいライブでした。

### 第7回 音楽の風景

### 弾むウッドベース、駆け抜けるサックス